

専門体育

| | | | | | |
|----------------|--|-----|-----|-------|--------------------|
| 教科名 | スポーツ 総合演習 | 単位数 | 3単位 | 学科・学年 | 普通科 アスリートコース 1. 2年 |
| 教科書名 | なし | | | 出版社名 | なし |
| 副教材等 | なし | | | 出版社名 | なし |
| 科目目標 | 各種運動の合理的実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 | | | | |
| 到達目標 (検定目標) | 運動の特性や自己の能力・適性などに即し、運動や健康の科学的な理解の上に立って運動を実践し、体力の向上をさせる。 自分が選択した運動の学習が、単に一過性の楽しさの追求だけに終わってしまうことなく、自己の能力に応じた課題を習得できる。 各種の運動の合理的な実践を通して、公正、協力、責任などの社会的な態度を育成する。 | | | | |
| 成績評価 | 実技教科であるので相当数の出席を重視します。 集団行動・各選択種目の最後に実技試験を行います。 授業に対する取り組み姿勢、服装面、授業への集合状況、行動面などで評価します。 | | | | |
| 評価規準 | 関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解 | | | | |

| 授 業 計 画 | | | | | | | |
|---------|-------------|---|---|---|---|---|--|
| 月 | 授 業 内 容 | 授 業 目 標 | 評価の観点 | | | | |
| | | | 関 | 思 | 技 | 知 | |
| 4 | (球技選択) (武道) | <ul style="list-style-type: none"> ・剣道における礼法を理解し、練習でも相手を尊重し礼儀正しくすることができる。 ・竹刀の握り方・間合・正眼の構え・体さばき素振りなど剣道における基本動作を理解する。また、竹刀や防具での打たせ方等。 ・練習の方法と隊形など授業の進め方を理解する。 ・竹刀への打突と打たせ方・すり足打突・相手打突の受け方など打突の基本を正しく身につける。 | ● | ● | ● | ● | |
| 5 | 剣道 | | | | | | |
| 6 | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | |
| 10 | 野球 | | <ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自分の課題に応じて技能を高め作戦を生かした攻め方や守り方の展開をしたゲームが出来るようになる。 ・仲間と共に練習を工夫しながらチームや個人の特技を生かした作戦やルールの工夫を通して、対抗戦を行う。 ・各自の課題(技能)をみにつけ、解決するための練習方法を工夫し技能を高めゲームに生かせるようにする。 | | | | |
| 11 | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | |

